

## II 詩集

### 山里の子

おお

子供らよ

大人であるわたしは

子供であるきみたちにあつく感謝する

きみたちの三倍も生きてきたこのわたしが

きみたち幼い子供らに

心の灯をとぼしてもらった

わたしはいま

きみらの贈り物をもって

この山深い村里を去る

きみらは柵のところではいばいを言い

わたしは汽車の窓ではしたない涙をかくす

きみら 山の子供らよ

きみらの心と わたしの心とが

いま

ただの結ばれ方でなく結ばれていることを

信じてくれるか

ああ ポリエチレンの袋におよぐオタマジャクシよ

ああ ガーベラと百合と野菊の花束よ

そして ああ 来年花咲くようにとチリ紙に包んでくれ

た名も知らぬ野花の種子のひとつまみよ！

(一九五二・七)